



あやせ

主な記事

- ②綾瀬いきいき祭り
検討委員の募集
- ③健康だより
- ④障害者週間
- ⑤80000人の
キャンドルナイト▶



芸術の光あふれる 癒しの空間が誕生

比留川沿いの 遊歩道に 陶芸のオブジェ 設置

スポーツセンター付近を流れる比留川沿いの遊歩道に、陶芸のオブジェを設置しました。内部には照明を備え、薄暮から夜にかけて発光します。点灯開始は12月1日です。陶芸のイルミネーションを楽しんでみませんか。
〒深谷中央区画整理事務所 ☎70・1702。



オブジェ位置図



特色あるセンター区へ 景観づくりの場を提供

現在、タウンセンター計画に基づき、快適な環境の住宅地を整備するための深谷中央特定土地区画整理事業を進めています。

その一環として、事業地内の特色を出すため、緑を取り込む重要な場所において、良好な形態となつていく比留川沿いの遊歩道で景観をつくることとしました。

ソーラーエネルギーで 日没から約4時間発光

市民協働での景観づくりに向けて、市シルバー人材センターと連携し、遊歩道沿いの緑地に照明を備えた市民手作りの陶芸品を設置することにしました。同センターの呼び掛けで、市陶芸連盟の会員61人が5月から10月にかけて61作品を完成させました。動物や植物、風景など多彩なモチーフで、全ての作品にスリットがあり、そこから光を放

射させます。照明はLEDで、電力は環境に配慮したソーラーエネルギーを利用しています。電源となるのは1枚のソーラーパネルで、日没に合わせて全ての照明が点灯し、約4時間発光させることが可能です。オブジェは、12月1日時点で30基が設置され、その後61基まで数を増やします。癒しの空間で、個性あふれる作品たちが皆さんを待っています。優しく温もりのある光に包まれながら、散策してみたいいかがでしょうか。



比留川沿いの遊歩道

